

2020年3月期 第3四半期

決算説明会資料

株式会社 F U J I



# 目次

- 会社概要
- 第3四半期決算の概要
- 2020年3月期 業績予想

# 会社概要

# 会社情報

(2019年3月現在)

設立	1959年4月7日
資本金	58.78億円
従業員数	2,449人
売上高	1,291億円
営業利益	231億円
経常利益	234億円
主要製品	電子部品実装ロボット 工作機械



本社外観（愛知県知立市）

海外拠点： アメリカ、ドイツ、中国、インド、ブラジル他

# 主な沿革

1959年	名古屋市中川区昭和橋において富士機械製造株式会社を設立
1970年	米国現地法人フジ アメリカ コーポレーション設立（現連結子会社）
1971年	NC自動旋盤完成
1978年	電子部品自動挿入機 BA完成
2003年	モジュール型高速多機能装着機 NXT完成
2010年	超高密度 大気圧プラズマユニット Tough Plasma完成
2013年	東京証券取引所市場第一部上場
	モジュール型生産設備 DLFn 旋盤モジュール完成
2014年	中国・昆山工場操業開始
2016年	パブリックストックシステム Quist完成
	移乗サポートロボット Hug完成
2017年	小型多関節ロボット SmartWing完成
2018年	「富士機械製造株式会社」から「株式会社FUJI」へ社名変更
	ファスフォードテクノロジ社を完全子会社化

# 拠点



フジ ヨーロッパ コーポレーション  
ゲーエムベーハー



昆山之富士機械製造有限公司



フジ アメリカ コーポレーション

フジ マシン アメリカ コーポレーション

タワーファクトリー  
ゲーエムベーハー

富社(上海) 商貿有限公司

フジ インディア コーポレーション  
プライベート リミテッド



本社

大阪支店

豊田事業所

岡崎工場

仙台営業所

ファスフードテクノロジー株式会社

東京支店

株式会社エデックリンセイシステム

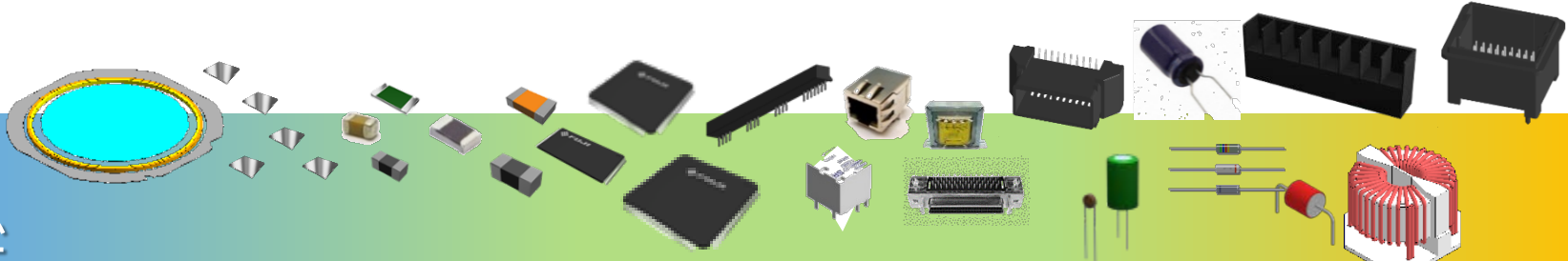
株式会社アドテック富士



フジ ド ブラジル マキナス  
インダストリアイス リミターダ

- 工場・事業所・支店・営業所
- 子会社

# ロボットソリューション事業



はんだ  
印刷

Die

SMD

挿入部品



GPX-C

NXT-H

NXT III  
Fuji Scalable Placement Platform

AIMEX III  
AIMEX III C

sFAB-α

sFAB-D

軽作業ロボット

プラズマ処理装置

宅配ロッカーシステム

介護ロボット



Smart Wing  
**FUJI**  
innovative spirit

Tough Plasma

Quist

Hu9  
移乗サポートロボット

# ファスフォードテクノロジー社とのシナジー

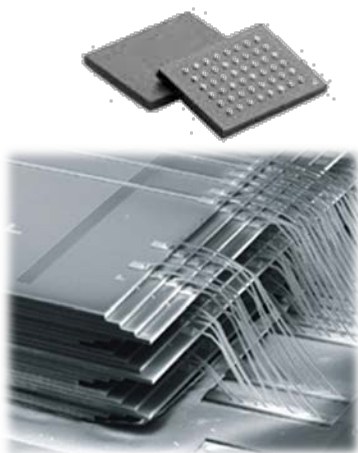
ファスフォードテクノロジー(半導体製造 後工程)とFUJII (SMT工程)の連携により、  
両分野にまたがる新しい事業領域に対し、新たな価値を創造していきます



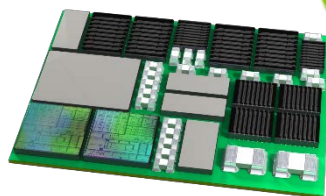
半導体製造 後工程  
(Assembly)

SMT工程

DRAM  
NAND

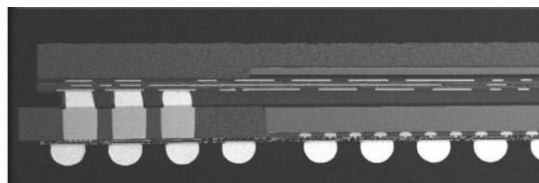


SiP,  
モジュール



WLP

FOWLP/PLP



スマホ  
車載etc

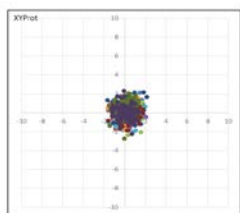
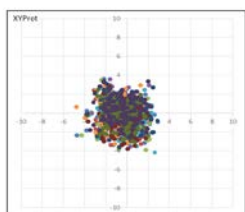




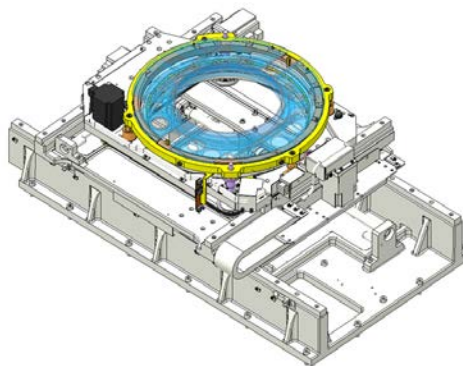
# ファスフォード社の技術のFUJI装置への展開



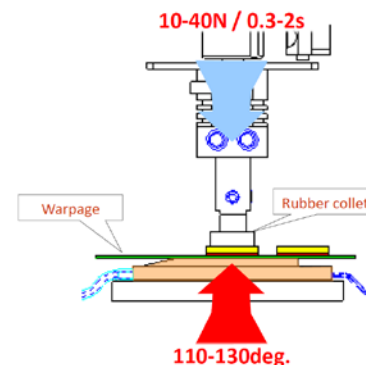
精度補正技術  
( $3\sim 5\mu\text{m } 3\sigma$ )



ウエハエキスパンダ技術



薄部品の吸装着加熱、加圧実装技術



ダイボンダーの技術をFUJIのマウンターに  
組み入れ、商品競争力向上

大気圧プラズマユニット

# Tough Plasma



FPF20-GM

自動車・航空宇宙・医療機器・  
電子部品等の異種材料の接着前処理



# 小型多関節ロボット SmartWing

- ビジョンシステムを標準搭載
- 座標補正技術とビジョンデータを活用し、ティーチングの手間を削減。  
立上げ時間を従来に比べて約40%削減することができます（当社規定動作による比較）
- 整列・移載・挿入・はんだ塗布など自動化工程向けにパッケージ化



# 移乗サポートロボット



ロボットで抱え上げないらくらく介護を実現

- ①コンパクト・軽量化により在宅環境にも適合
- ②100kgの方までしっかり、軽々移乗
- ③ベルト不要でサッと準備、リモコンで簡単操作

◆各大手レンタル卸し事業者と契約・量販

◆バリアフリー2020（大阪）2020/4/16-18 出展予定

病院・施設向け



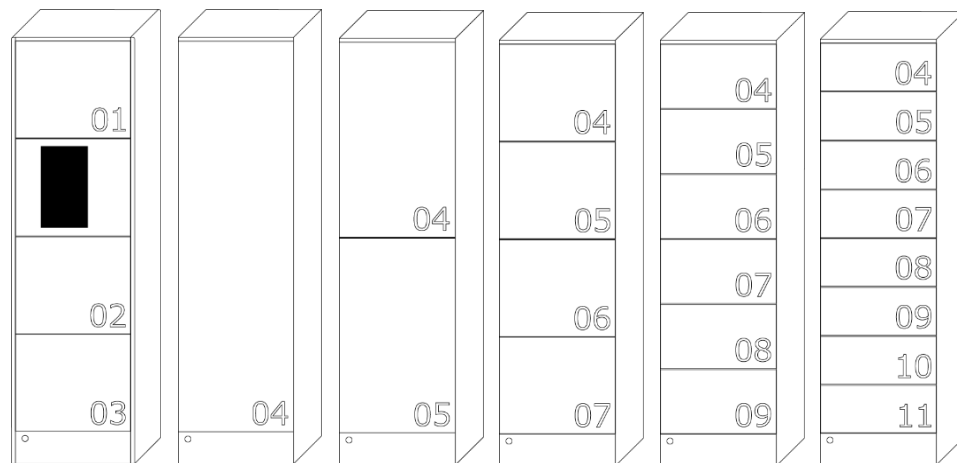
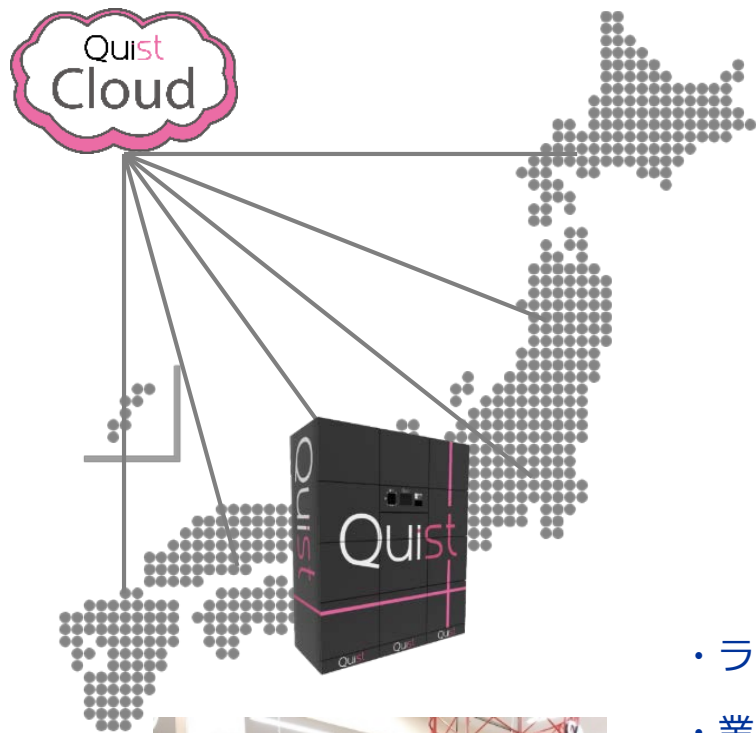
移乗サポートロボット

Huq T1-02

在宅向け



# パブリックストックシステム **Quist**



- ・ ラインナップ拡充によりニーズに合わせた柔軟な装置構成が可能
- ・ 業界トップレベルの防塵・防水性能を実現 (IP54)
- ・ 大手物流キャリア2社とのシステム連携を可能に
- ・ ホームセンター業界への拡販開始 (店舗内物流効率化)
- ・ 働き方改革EXPO (名古屋) 2020/2/12~14 出展
- ・ リテールテックJAPAN2020 (東京) 2020/3/3~6 出展予定

# マシンツール事業

正面2スピンドル旋盤

## CSシリーズ



ステアリング  
■ピニオンステアリングシャフト

パワートレイン  
■ピニオンギヤ  
■ドライブピニオン  
■デフケース

足回り  
■ハブ  
■ブレーキディスク

トランスミッション  
■アウトプットシャフト  
■シーブ (CVT)

エンジン  
■カムシャフト  
■ベアリングハウジング

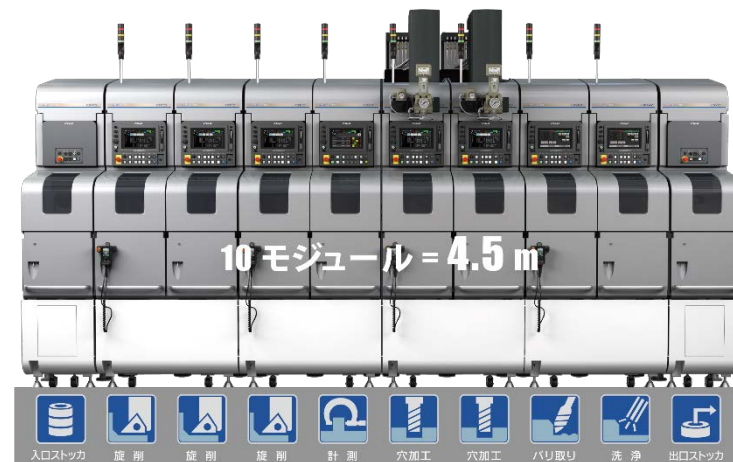
横型NC旋盤

## TNシリーズ



モジュール型生産設備

## DLFN



# 第3四半期決算の概要

# 第3四半期 決算のポイント

## ▶ ロボットソリューション事業

スマートフォン、次世代通信規格 5G 関連向け設備が引き続き中国で堅調に推移したことに加え、ベトナム、台湾、インド等、他のアジア地域においても新たな設備投資が増えました。一方、景気の先行き不透明感から日本国内および北米市場においては設備投資に対し慎重な姿勢が見られました。

## ▶ マシンツール事業

主に中国および北米市場における自動車関連の設備投資が軟調に転じたため、前期と比べ減収となりました。

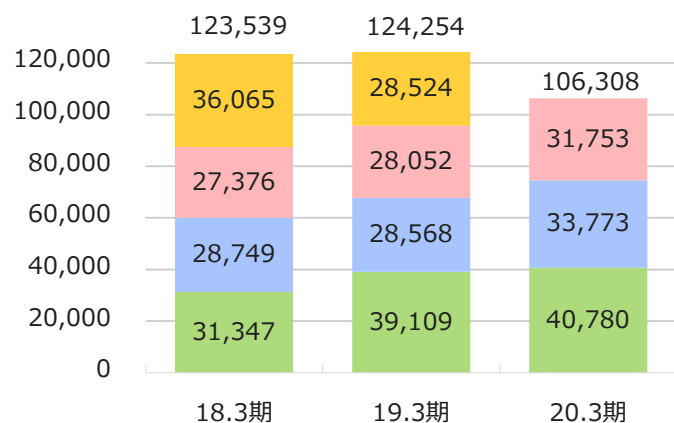


# 2020年3月期 第3四半期 業績

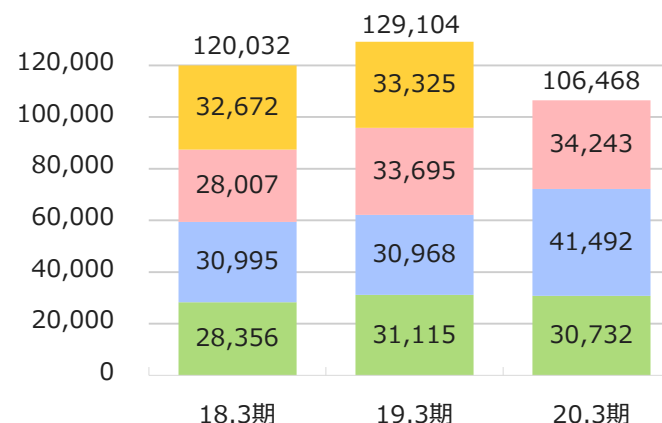
(百万円)

	19.3期 Q3 累計実績	20.3期 Q3 累計実績	対前年同期	
			額	率
受注高	95,730	106,308	+10,578	+11.0%
売上高	95,778	106,468	+10,689	+11.2%
営業利益	17,785	15,988	▲1,796	▲10.1%
経常利益	18,363	16,456	▲1,906	▲10.4%
当期純利益	13,309	12,263	▲1,045	▲7.9%

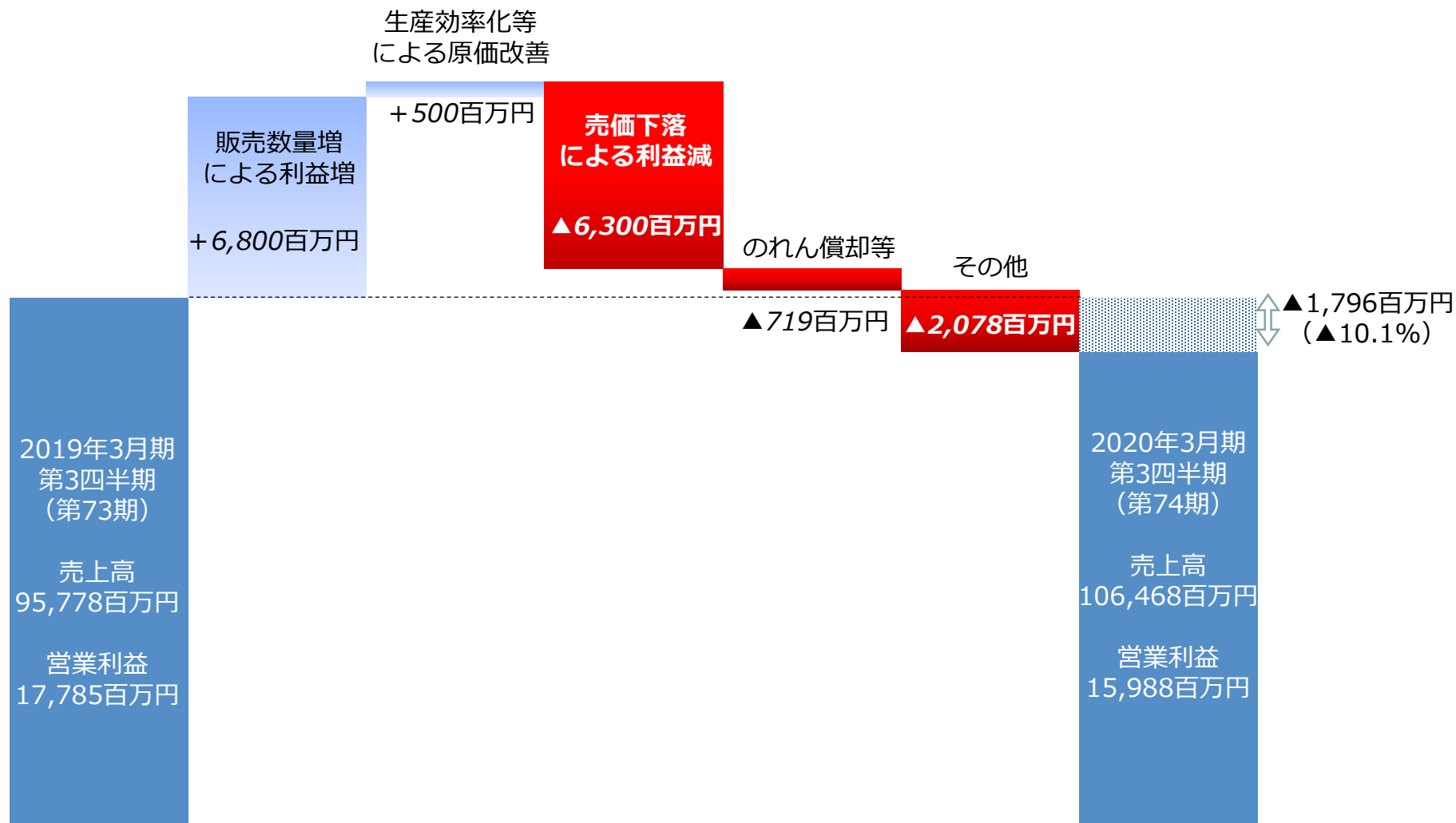
受注高



売上高



# 営業利益増減分析

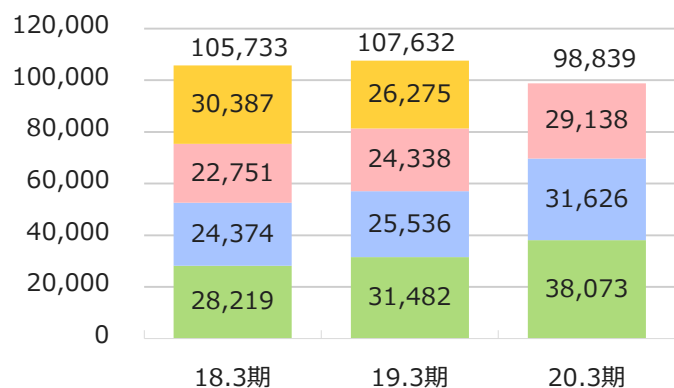


# ロボットソリューション事業 業績

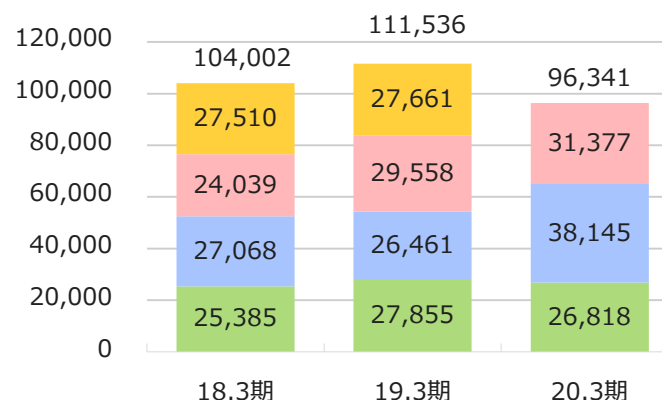
(百万円)

	19.3期 Q3 累計実績	20.3期 Q3 累計実績	対前年同期	
			額	率
受注高	81,356	98,839	+17,482	+21.5%
売上高	83,875	96,341	+12,466	+14.9%
営業利益	19,719	18,295	▲1,424	▲7.2%
受注残高	22,100	20,180	▲1,920	▲8.7%

受注高

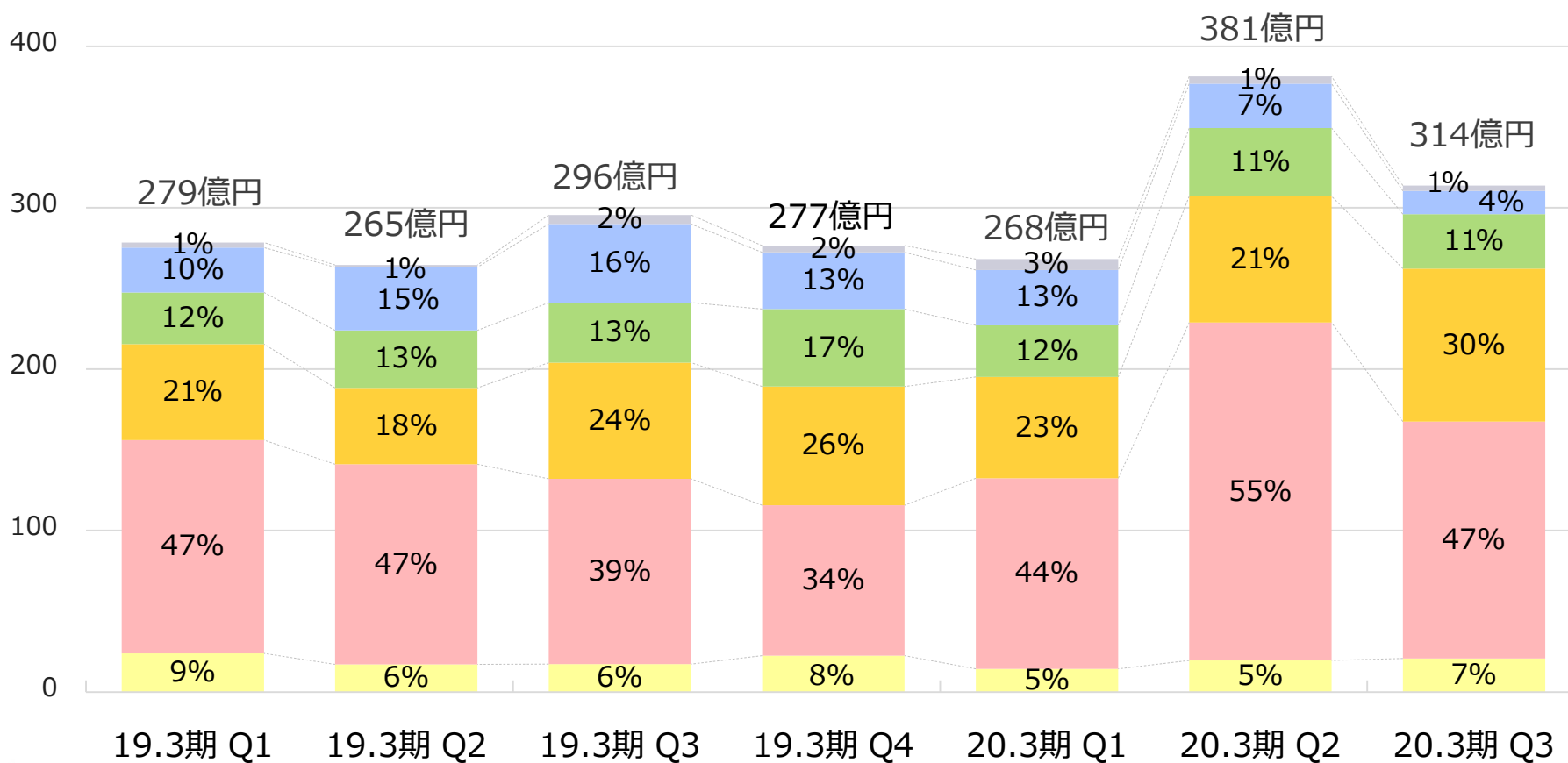


売上高

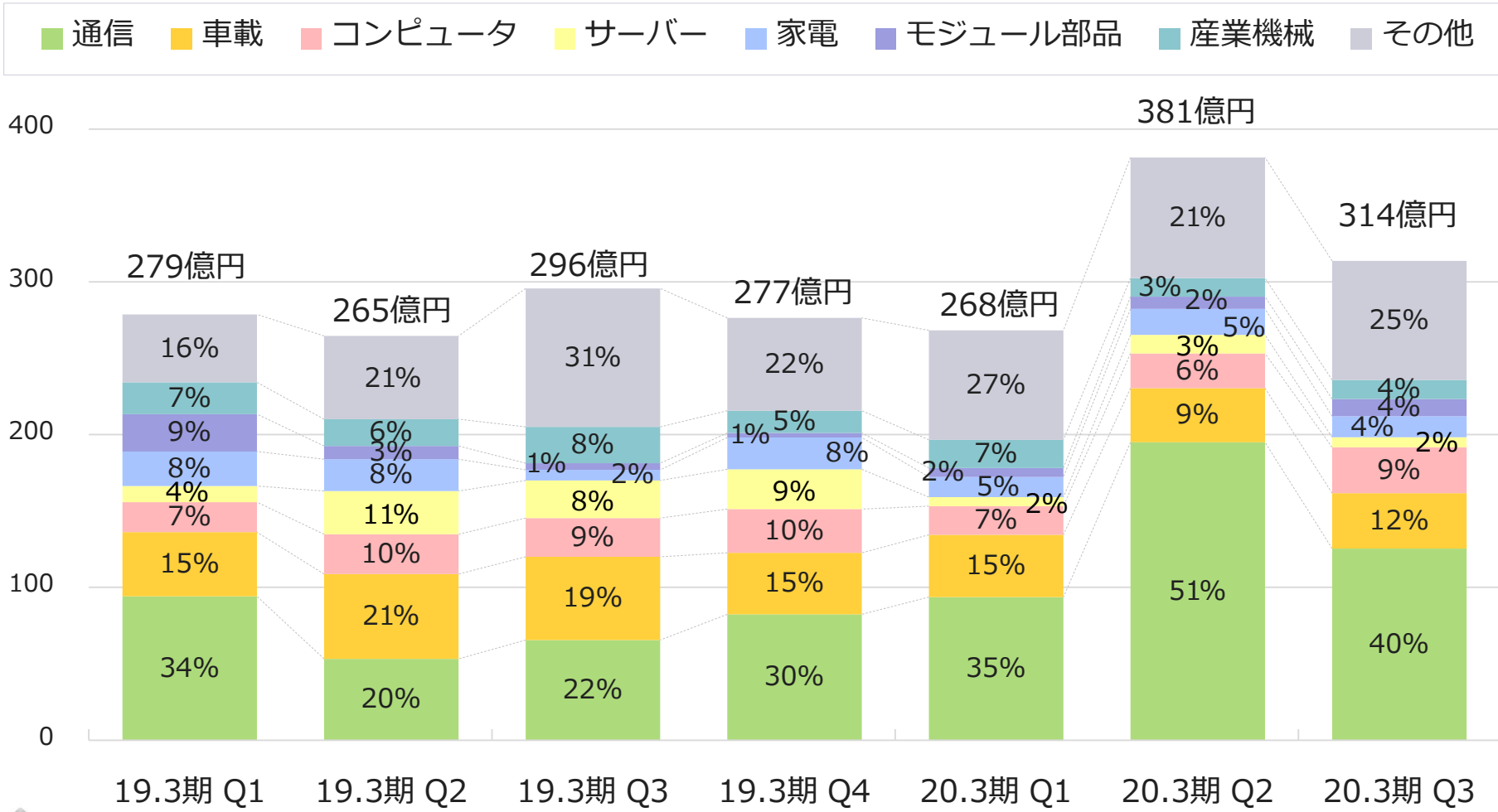


# ロボットソリューション事業 地域別売上高

国内 中国 中国除くアジア ヨーロッパ 北アメリカ その他

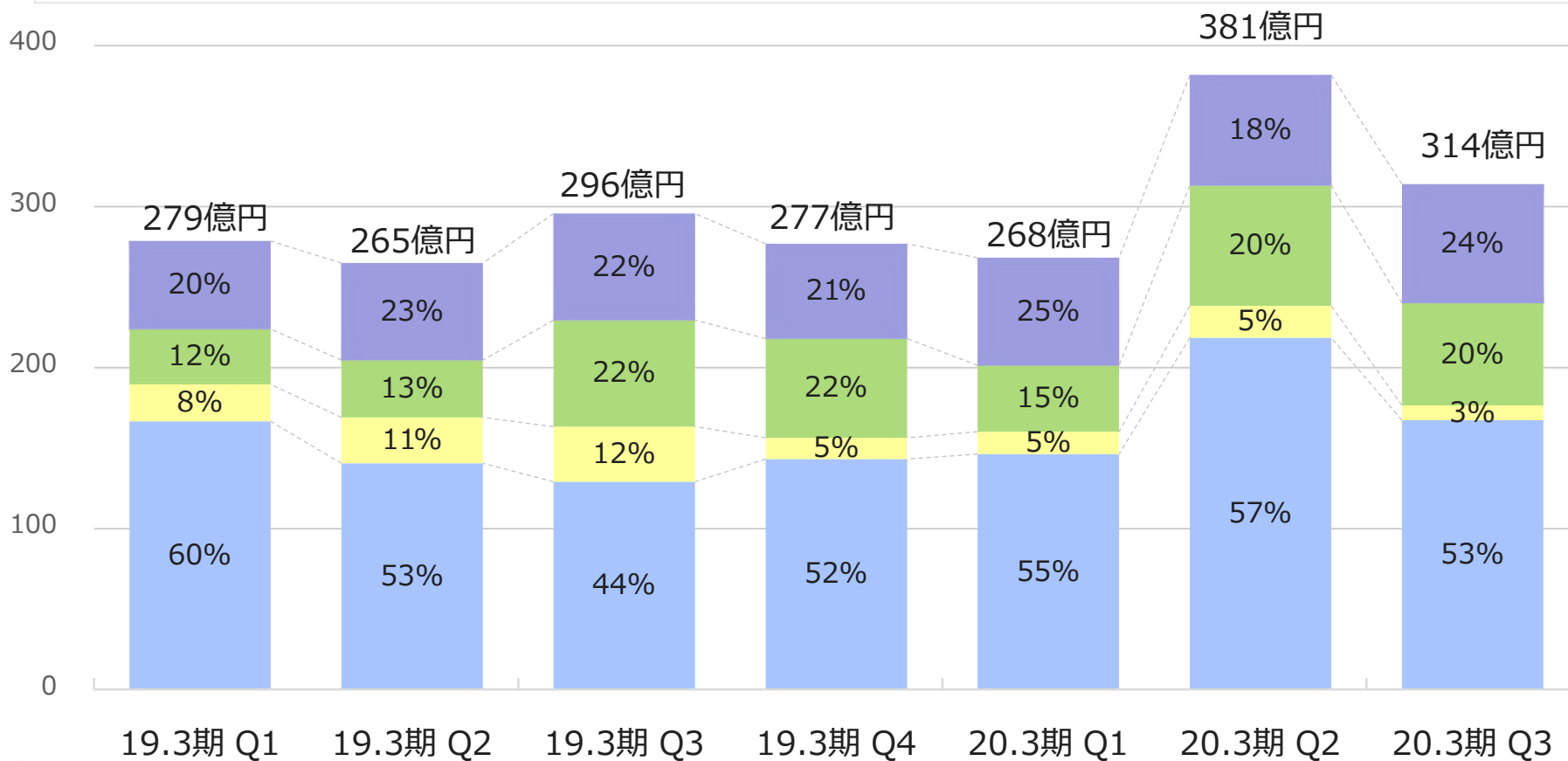


# ロボットソリューション事業 業種別売上高



# ロボットソリューション事業 機種別売上高

■ 高速装着機 (NXTシリーズ)    
 ■ 汎用装着機 (AIMEXシリーズ)    
 ■ その他装置    
 ■ 部品・改造・修理

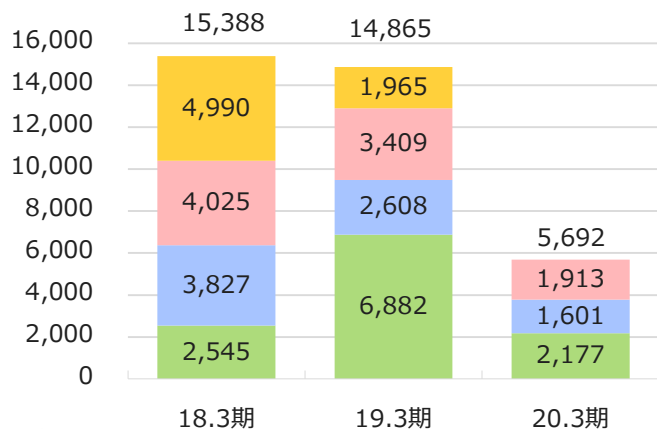


# マシンツール事業 業績

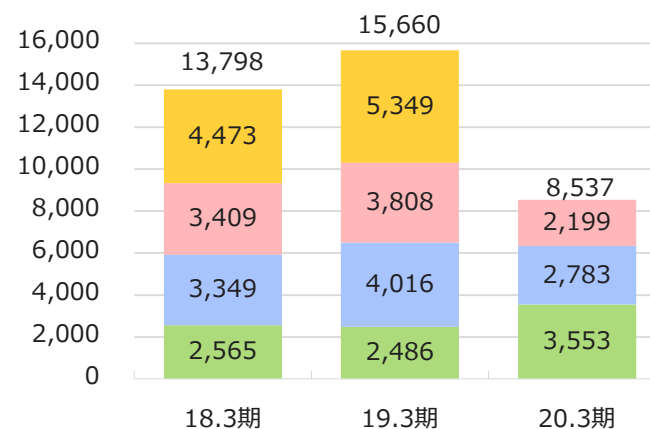
(百万円)

	19.3期 Q3 累計実績	20.3期 Q3 累計実績	対前年同期	
			額	率
受注高	12,899	5,692	▲7,207	▲55.9%
売上高	10,311	8,537	▲1,774	▲17.2%
営業利益	841	▲54	▲896	▲106.5%
受注残高	11,833	5,604	▲6,228	▲52.6%

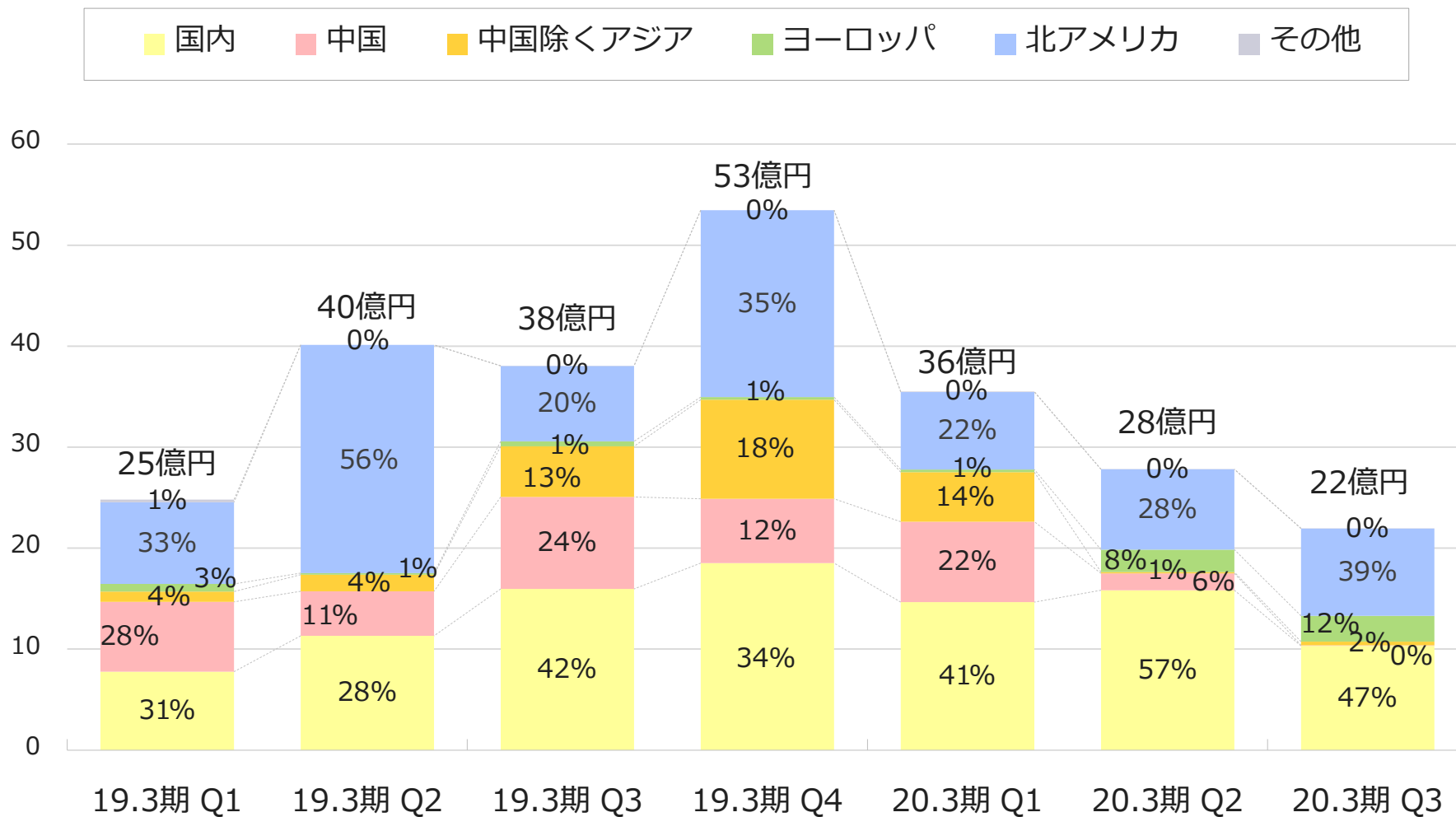
受注高



売上高



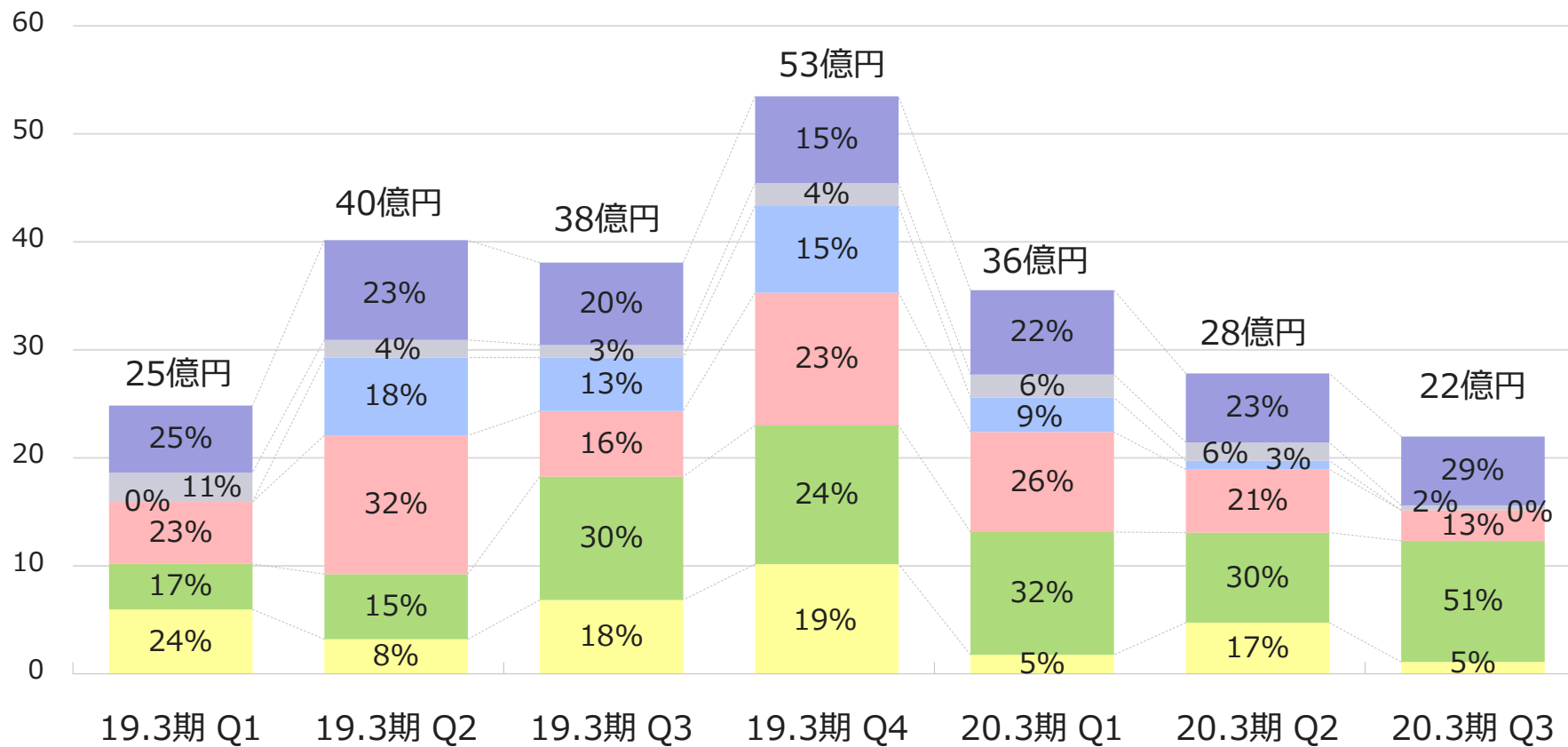
# マシンツール事業 地域別売上高





# マシンツール事業 機種別売上高

■ ANシリーズ ■ TNシリーズ ■ CSシリーズ ■ DLFn ■ その他 ■ 部品・改造・修理



# 2020年3月期 業績予想

# 連結業績予想

・ 直近（2019年11月14日）予想からの変更あり

（百万円）

	19.3期 通期実績	20.3期通期予想				
		直近予想	今回予想	対前年同期		対直近予想
				額	率	
受注高	124,254	132,000	144,000	+19,745	+15.9%	+12,000
売上高	129,104	132,000	138,000	+8,895	+6.9%	+6,000
営業利益	23,106	16,400	18,600	▲4,506	▲19.5%	+2,200
営業利益率	17.9%	12.4%	13.5%	-	-	-
経常利益	23,454	17,000	19,300	▲4,154	▲17.7%	+2,300
当期純利益	16,855	12,700	14,300	▲2,555	▲15.2%	+1,600

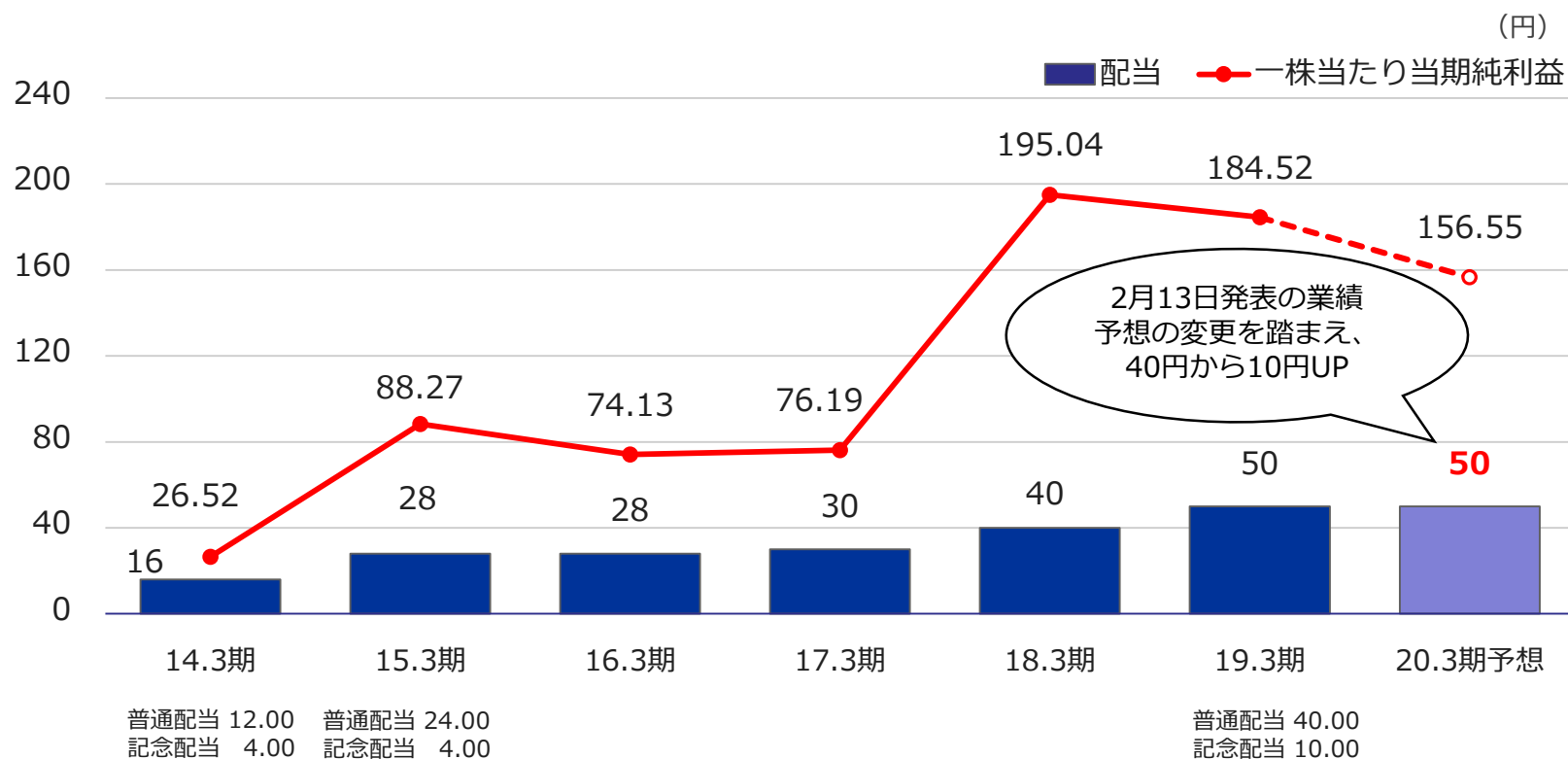
## セグメント受注・売上予想

・直近（2019年11月14日）予想からの変更あり

（百万円）

		19.3期 通期実績	20.3期通期予想				
			直近予想	今回予想	対前年同期		対直近予想
					額	率	
RS 事業	受注高	107,632	121,500	133,500	+25,867	+24.0%	+12,000
	売上高	111,536	119,500	125,500	+13,963	+12.5%	+6,000
	受注残	17,682	19,682	25,682	+8,000	+45.2%	+6,000
MT 事業	受注高	14,865	8,000	8,000	▲6,865	▲46.2%	±0
	売上高	15,660	10,500	10,500	▲5,160	▲33.0%	±0
	受注残	8,449	5,949	5,949	▲2,500	▲29.6%	±0
その他 事業	受注高	1,756	2,500	2,500	+743	+42.4%	±0
	売上高	1,907	2,000	2,000	+92	+4.8%	±0
	受注残	170	670	670	+500	+292.4%	±0

# 1株当たり当期純利益・1株当たり年間配当金



	14.3期	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期 予想
配当性向	60.3% (45.2%)	31.7% (27.2%)	37.8%	39.4%	20.5%	27.1% (21.7%)	31.9%

( ) 普通配当の配当性向

# SDGsへの取り組み



当社は、事業活動を通じてSDGsの実現に貢献します。

## ●環境への取り組み

- 環境に配慮した省電力・省スペース製品の開発
- CO<sub>2</sub>排出量削減に貢献する省エネルギー工場



## ●平等な社会へ（ジェンダーと多様性）

- 性別・国籍によらない採用選考
- 「あいち女性輝きカンパニー」認証取得



## ●ガバナンスへの取り組み

- グループ行動憲章の制定とグループ会社全従業員への展開
- 取引先との健全なパートナーシップの構築



## ● 従業員の働き方改革と健康推進

- FUJI健康経営宣言の制定
- 社員が能力を発揮できる人事制度、人材育成



## ● 技術革新を通じた社会発展への貢献

- 電子部品実装ロボット・工作機械の開発を通じた自動化への貢献
- 既存技術の強みを活かし、介護ロボット・宅配ロッカーシステム・プラズマ装置などの新事業の開拓



## ● 地域との共生・教育

- “えいご”をつかって“かがく”を学ぶ  
イングリッシュアフタースクール  
「teracoya THANK」の運営
- 地域交流イベントへの積極的な参画



# 成長戦略

## ロボットメーカーとしての躍進

ロボット開発  
を支える

FUJI Robo Components

リニアモーター・  
ロボットシステム等  
外販化

ロボット技術で新しい価値を創造



電子部品実装ロボット  
(ロボティックマウンター)



半導体製造装置

工作機械

(ロボット搬送システム)



IoT

スマートファクトリー

生産の自動化

高精度

生産性

コアテクノロジー

解析技術

モーション  
コントロール  
技術

ビジョン  
技術

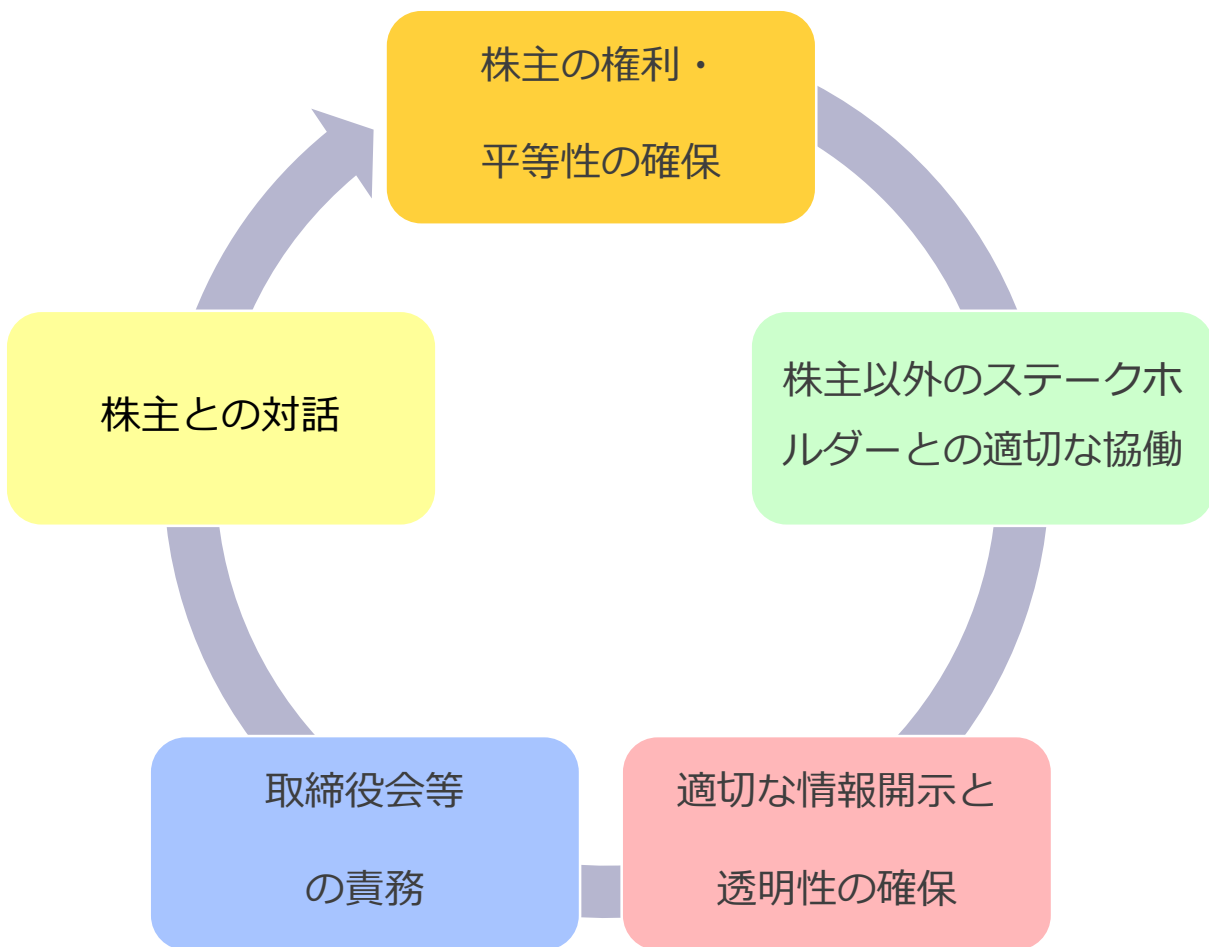
効率的な資金活用による迅速な施策実現

- ・販売力強化 ・研究開発 ・M&A
- ・技術提携 ・モノづくりアライアンス ・資本参加

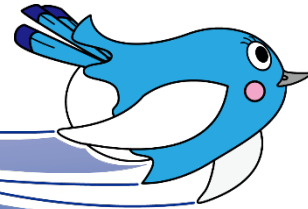


# コーポレートガバナンス・コード

当社はコーポレートガバナンス・コードを踏まえて、  
企業価値の向上を目指してまいります。



1. 株主の権利・平等性の確保
  - ・ 英文開示の充実
  - ・ 招集通知の発送前電子開示
2. 株主以外のステークホルダーとの適切な協働
  - ・ 女性の活用を含む社内の多様性の確保
  - ・ 取引先・地域社会との絆
  - ・ 生き生きと働ける活力ある職場づくり
3. 適切な情報開示と透明性の確保
  - ・ コーポレートガバナンス報告書等への開示
  - ・ ホームページでの適切かつタイムリーな情報開示
4. 取締役会等の責務
  - ・ 取締役会の迅速な意思決定と業務の執行機能による経営のスピード化と責任の明確化
  - ・ 独立社外取締役の活用
5. 株主との対話
  - ・ IR説明会開催、SR面談の随時対応



# FUJI robots lead the way

ロボットで未来を拓くFUJI

## 【本資料お取扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果があります。

株式会社 F U J I